

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2012年28週 (7月2週7/9~7/15)

2012年6月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

ヘルパンギーナ、百日咳、風しん、腸管出血性大腸菌感染症

### 病原体検出情報

### 定点医療機関コメント

ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、アデノウイルス感染症、カンピロバクター腸炎、溶連菌感染症 等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(35)、腸管出血性大腸菌感染症(6)、腸チフス(1)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(1)、風しん(4)

2012年6月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ヘルパンギーナ(図1)

28週の定点当たり報告数は4.37、27週705人 28週796人(1.13倍)です。7保健所(瀬戸、春日井、江南、岡崎市、衣浦東部、豊橋市、豊川)で定点当たり報告数が警報開始基準値(6.0)以上となっています。

### 百日咳(図2)

28週の定点当たり報告数は0.07、27週5人 28週12人(2.4倍)です。

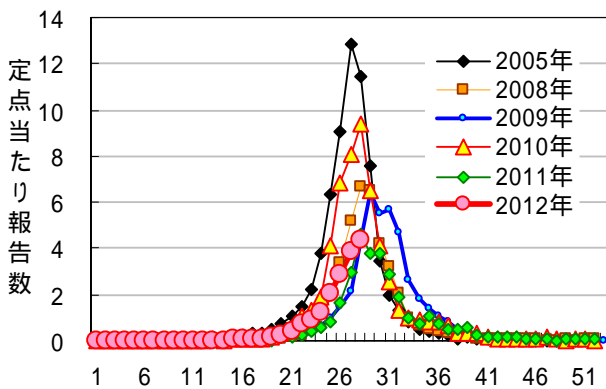


図1 ヘルパンギーナ

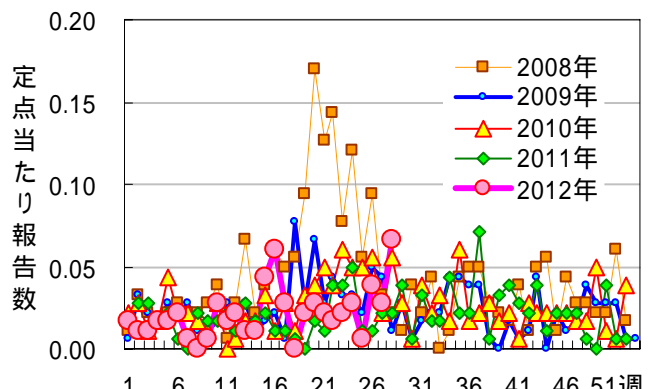


図2 百日咳

### 風しん

愛知県の2012年報告数は、7月18日現在14件(男性12名、女性2名:10歳未満1名、10歳代1名、20歳代2名、30歳代7名、40歳代3名)です。2010年の報告数は3件、2011年の報告数は13件でした。

うち5名は、当初麻しんが疑われPCRにて風疹ウイルスが検出されました。(p2 病原体検出情報参照)

なお、全国的にみると、風しん患者の地域的な増加(兵庫県、大阪府など)が報告されています。

### 【参考ページ】

風しん患者の地域的な増加について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/120525a.pdf>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

### 腸管出血性大腸菌感染症(表)

愛知県の2012年報告数は、7月18日現在66件(O26 34件、O157 22件、O111 4件、O103 3件、O91 2件、O18 1件)です。

### 【参考ページ】

病原大腸菌

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html>

表 腸管出血性大腸菌感染症

O血清型別報告数及びHUS<sup>\*</sup>発症数(愛知県・2012年は7月18日現在)

O血清型	2010年	2011年	2012年
O157	190	102	22
O26	33	7	34
O111	3	1	4
O121	0	3	0
O145	2	2	0
その他、不明	11	6	6
患者報告数総計	237	121	66
うちHUS発症者数	10	4	2

\* 溶血性尿毒症症候群

病原体検出情報 - 平成 24 年疾患別ウイルス検出速報 -

7 月 15 日現在

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルペス	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	*麻疹
患者数	193	3	24	4	21	12	14	199	55(32)
PV-2	1								
CV-A2			2						
CV-A4			7						
CV-A16		2							
FluAH3								137	
FluB							1	37	
MeV									20(6)
RUBV									3(2)
RotaA	5								
RotaA G1	21								
RotaA G2	4								
RotaA G3	22								
RotaA G9	6								
NV-G	2								
NV-G	81								
SV	5								
Ad-1				1					
Ad-2	6								
Ad-3				1					
Ad-5	2			1					
Ad-41	5								
B19V									2(1)
検査中	50	1	15	1		6	1		6(6)
陰性	24				21	6	12	25	24(17)

\* 麻疹の( )内は病原体定点医療機関以外からの患者数の別掲。

略：ウイルス名（他の略名）

Ad：アデノウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1) 「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2) 「2011/12 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11\\_12.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri11_12.html)

3) 「麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況」

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl\\_2012.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2012.html)

4) 「麻疹ウイルス分離・検出速報」( 国立感染症研究所感染症情報センター )

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html>

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

7歳男 5歳女 マイコプラズマ肺炎  
 【一宮市 あさのこどもクリニック】  
 マイコプラズマ感染症 4歳男  
 ヘルパンギーナあり  
 【一宮市 後藤小児科医院】  
 アデノウイルス感染症 2名  
 マイコプラズマ感染症 2名  
 【一宮市 ささい小児科】  
 アデノウイルス感染症 3名  
 伝染性単核球症 3歳男  
 【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】  
 ヘルパンギーナ多く、ムンプスも続発中  
 溶連菌感染も続発中  
 【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

夏かぜ様疾患が多いです。  
 溶連菌感染症少なくなりました。  
 【江南市 みやぐちこどもクリニック】  
 12歳女 マイコプラズマ肺炎  
 50歳代男 カンピロバクター腸炎  
 60歳代男 カンピロバクター腸炎  
 【北名古屋市 田中クリニック】  
 43歳男 病原大腸菌(O1)  
 マイコプラズマ感染症 7歳女  
 感染性胃腸炎多い様です。  
 ヘルパンギーナ散発です。  
 溶連菌感染症減って参りました。  
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナ、りんご病増加中  
 【豊明市 こども元気クリニック】  
 ヘルパンギーナ流行中、その他、手足口病、  
 伝染性紅斑、水痘、溶連菌感染症、突発疹、感  
 染症多数ありました。  
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
 ヘルパンギーナ続発中  
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
 ヘルパンギーナが見られます。  
 【小牧市 志水こどもクリニック】

ムンプス髄膜炎が1例入院中です。  
 【春日井市 春日井市民病院】  
 6歳男 病原大腸菌O6(+ )VT(- ) カンピ  
 ロバクター(+ )  
 溶連菌感染症が多いです。  
 ヘルパンギーナも増えてきました。  
 【大府市 まえはらこどもクリニック】  
 手足口病が2名  
 ヘルパンギーナはありませんでした。  
 溶連菌感染症はちらほら続いています。  
 【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+ ) 2名  
 E.coli(O164) 10歳女  
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
 マイコプラズマ 20歳以上男 1人  
 【豊田市 わかぞの東洋クリニック】  
 病原性大腸菌O1(+ )VT(- ) 3歳女 1歳男  
 マイコプラズマ 6歳男 10歳女  
 【岡崎市 にいのみ小児科】  
 マイコプラズマ肺炎 3歳男 6歳女 10歳  
 女 7歳男 7歳女  
 病原性大腸菌O18(+ ) 9歳女  
 病原性大腸菌O1(+ ) 7歳男  
 病原性大腸菌O125(+ )O18(+ ) 7歳男  
 アデノウイルス感染症 3歳男  
 マイコプラズマ肺炎が目立ちます。  
 【岡崎市 花田こどもクリニック】

病原性大腸菌O18(+ ) 5歳男  
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
 マイコプラズマ肺炎 11歳女 5歳男 12歳女  
 【岡崎市 医療法人深田小児科】  
 病原性大腸菌O1(+ ) 10歳女  
 流行性耳下腺炎が目立ちます。  
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
 マイコプラズマ気管支炎 4名(5歳、8歳、  
 9歳、11歳)  
 【刈谷市 田和小児科医院】  
 ヘルパンギーナ目立ちます。  
 【碧南市 永井小児科クリニック】  
 ヘルパンギーナ 多数  
 【知立市 宮谷クリニック】

東三河地区

2歳女 ヘルペス歯肉口内炎  
 3歳男 マイコプラズマ肺炎  
 【豊橋市 医療法人野村小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2012年7月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2012年28週報告数			2012年累計(1～28週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	16	3	4	433	97	126
豊田市				40	12	11
豊橋市				38	7	11
岡崎市	2			31	11	7
一宮	2		1	72	20	13
瀬戸	3		1	59	10	20
半田				33	11	14
春日井	1			50	18	6
豊川	2	2		44	12	18
津島	5	1	1	49	13	6
西尾	1			23	5	6
江南	1			36	9	9
新城				4	2	1
知多				46	16	17
師勝				12	8	2
衣浦東部	2	1	1	48	15	11
合計	35	7	8	1,018	266	278

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊橋市	76歳	男	7/6	7/8	7/11	O157、VT1(+)VT2(+)
2	一宮	24歳	女	7/7	7/10	7/13	O157、VT1(+)VT2(+)
3	知多	75歳	男	7/10	7/12	7/13	O157、VT型不明
4	知多	19歳	男	7/6	7/13	7/13	O157、VT2(+)
5	衣浦東部	17歳	男	7/1	7/2	7/4	O103、VT1(+)
6	衣浦東部	61歳	女	7/9	7/9	7/11	O157、VT1(+)VT2(+)

腸チフス（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	一宮	20歳	女	6/19	7/2	7/9	ミャンマー

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	67歳	男	肺炎型	国内
2	春日井	62歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	83歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	42歳	女	不明	国内
2	豊橋市	3歳	女	有	国内
3	岡崎市	33歳	男	不明	国内
4	岡崎市	39歳	男	不明	国内

## 6月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [ ( )は無症状病原体保有者再掲。]

2011～2012年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2012年6月			2012年 累計 <愛知県全体>	2011年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	102 (25)	67 (17)	169 (42)	945 (263)	2,088 (557)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	2 (0)	2 (0)	5 (1)	14 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	9 (1)	2 (0)	11 (1)	58 (28)	121 (33)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	バラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	0	0	0	5	4
	チクングニア熱	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	0	0	4	9
	日本紅斑熱	0	0	0	0	3
	ボツリヌス症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	3	6
	レジオネラ症	11	1	12	22	41
五類 (16)	アメーバ赤痢	4	4	8	23	41
	ウイルス性肝炎	0	0	0	4	11
	内訳					
	B型	0	0	0	4	8
	その他	0	0	0	0	3
	急性脳炎	1	1	2	7	12
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	4	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	8	14
	後天性免疫不全症候群	0	8	8	62	126
	内訳					
	無症候性キャリア	0	4	4	36	73
	AIDS	0	2	2	23	50
	その他	0	2	2	3	3
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	梅毒	2	0	2	20	44
	内訳					
	無症候	1	0	1	12	19
	早期顕症	1	0	1	6	21
	晚期顕症	0	0	0	2	4
	破傷風	1	0	1	3	7
	風しん	4	1	5	10	13
	麻しん	3	0	3	34	32
	総計	138	87	225	1,219	2,605

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2012年6月			2012年 累計	2011年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	73	69	142	773	1,560
	性器ヘルペスウイルス感染症	37	22	59	362	632
	尖圭コンジローマ	13	12	25	170	344
	淋菌感染症	23	34	57	285	714
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	67	20	87	671	1,411
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	11	5	16	71	155
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	1

\*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2012年28週(2012年7月9日～2012年7月15日)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ 定点 <small>(鳥インフルエンザ及び 新型インフル エンザ等感染症を除く。)</small>	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
	インフル エンザ	小児科	眼科	STD	基幹		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <small>(オウム病を除く。)</small>	インフルエンザによる入院患者
愛知県 (保健所別)																								
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	14	1	3	41	231	709	189	44	59	111	12	796	137	0	7	0	1	24	0	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	1	0	28	172	508	149	30	47	90	11	636	114	0	7	0	1	24	0	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	2		3	13	59	201	40	14	12	21	1	160	23							
瀬戸	9	9	2	3	1			2	11	67	10	1	10	15	1	75	2		1			1		
津島	7	7	2	2	1			3	11	75	5		7	6		9						1		
師勝	4	4	1	1					5	11	1			2	1	5	1							
一宮	16	12	3	4	1			2	17	42	14	2	3	12	2	38	11					4		
春日井	9	9	2	3	1			7	10	29	15	8	4	8		69	11					1		
江南	6	6	1	2				1	21	22	11	1	2	4		51	19		1					
半田	6	6	1	2	1				7	32	17	2	11	2		8	11					2		
知多	7	7	2	2				2	12	22	4	3	1	4		3	8							
岡崎市	11	7	2	4	1			1	25	51	7	3	3	8		55	28							
衣浦東部	13	13	2	4	1			3	15	50	20	3	4	6	1	112	8		2					
西尾	5	5	1	2	1				7	28	11			2		13	2		1			1		
豊田市	9	9	2	4	1			2	11	40	7	2	1	7	6	49	4					3		
豊橋市	12	8	2	4	1	1		3	9	24	12	3	1	9		78	5					10		
豊川	9	8	1	2	1			2	11	15	15	2		5		68	3		1			2		
新城	2	2			1											3	1							



